

# 市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆  
514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
男女共同参画・NPO室の  
ホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

- 津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部食堂／(有)デザインオフィス萩野
- 桑名市●桑名市市民活動支援センター
- 四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ
- 亀山市●亀山市市民協働センター
- 鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう
- 松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター
- 伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター
- 鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター／結
- 名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリソート赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢
- 伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター
- 明和町●めいわ市民活動サポートセンター
- 南伊勢町●南伊勢町町民文化会館
- 紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、尾鷲・熊野)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンテみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場



## NPOからの協働事業等提案「百代郷 夢びと 山びと この指とまれ」

私たちNPO法人「海虹路(えころ)」…どうして海虹路なのか…このページをお借りして紹介させていただきます。「海」は自然の源、そこから「虹」が掛け橋となって人が集まり、「路」から山へつながり循環していく…。みんなで環境について考え活動していこうとした5年前、この名前が生まれました。

日頃は尾鷲産の木材を用いた日用品やアート作品の手づくり体験教室、山づくり体験などの活動を行っていますが、今年度は、協働事業『百代郷 夢びと 山びと この指とまれ』で、地域の「森林文化」や「木の文化」を深めていくという目的で、新たな取組にチャレンジしています。

豊かな山は、豊かな海を育み、土砂災害などを防止し、きれいな水や空気をつくり、私たちに豊かで安全な生活をもたらしてくれます。「尾鷲ヒノキ」の名でもわかるように、かつての尾鷲の人たちは、「海」とのかかわりと同じくらい「山」とのかかわりを持って生活していました。ところが、今、林業は低迷し、人とのかかわりが薄れてしまった山では荒廃が進んでいます。尾鷲市は三方を山に囲まれた土地柄ですが、こういう環境に住んでいても、「山にはほとんど足を運ばない」という人たちも多くなってきました。

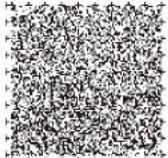
私たちは、この協働事業を通して、地域の人のみならずたくさんの人が山にふれ、山を知り、山を想い、山のために何かをするという尾鷲の新しい文化をつくりたい。みんなの想いで循環する山づくり、つまり持続可能な尾鷲の山づくりを実現したいと考えています。尾鷲の豊かな山が、豊かな自然が、これからもずっと続いていくことを願って活動しています。すばらしい地域の未来のために…。



【『植樹会』のお知らせ ～この取り組みでは、体験と学習を繰り返していきます～】  
体験の第1回目は『植樹』です。尾鷲の山を守り育てるはじめの一步として一緒に木の苗を植えませんか?植樹した木の苗には、植えていただいた方の「名札」を取付けたいと思います♪

- とき／11月1日(土) 10:00～12:00(小雨決行)
  - ところ／尾鷲市曾根町(バス停田ノ尻より徒歩5分)
  - 参加費／今回は助成金を使うので無料 ●募集人数／約100名
  - 募集締切／10月15日(水)まで
  - 申込み先／尾鷲県民センター県民防災室(梅谷) 電話 0597-23-3410
  - 主催・問い合わせ先／NPO法人海虹路(池田) 電話 080-3650-3611
- ※詳しくは海虹路のホームページをご覧ください。  
<http://www.ztv.ne.jp/web/tawaraya7/index.htm>

SPコード  
右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



「☆」がポイントになったポスター、チラシが完成しつつあります。先回もお話しました「みえボランティアフェスティバル2008」のPR用のものです。

星印は普段からよく見かけるものですし、多くの方が好んで使うマークだと思います。そんな見慣れたものに、松阪市社会福祉協議会へ実習に来ていた現役大学生の皆さんがひと味違った味付けをしてデザインを考えてくれました。

どんな味付けかといいますと、一人ひとりの指で作ったピースサインを5つつないで☆の形を作ることで、それぞれの指がお互いふれあって、ささえあって一つの輝く星を描くことができるというものです。

星(Star)というと、注目される1つ、1人の形容に付けられる言葉というイメージを持っていた私にとってはまさに新星発見の出来事でした。

フェスティバル当日も、このデザインのような「新たな発見」を感じてもらおうべく着々と準備をすすめています。

さて、このポスター、10月初めには皆さんのお近くに登場し始めます。楽しみにしててくださいね☆

## みなさんへのお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

#### ●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地  
【1】(1)ジュニアゴルフサポート倶楽部(2)植田貴也(3)四日市市諏訪町6丁目11番 ビュアコート1F 株式会社システムアイ内  
【2】(1)OFM(2)小倉弘毅(3)津市八町三丁目14番地12  
(平成20年8月10日～平成20年9月9日申請分)

#### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- めぐみの会(平成20年6月25日)  
日本アセアン交流協会(平成20年7月31日)  
とわのそら(平成20年8月4日)  
たまき末芳園(平成20年8月26日)  
お花畑(平成20年8月29日)  
(平成20年8月10日～平成20年9月9日届出分)

※関係書類は、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室に備え置いてあります。

## イベントスケジュール

### 【子育て広場：ドロッピン】 いのちの声を聴く自己尊重トレーニング

- とき・ところ・対象／10月4日(土) 18:00～21:00 四日市市労働福祉会館(大人)

- 10月5日(日) 10:00～13:00 あさけプラザ(小学生)  
10月6日(月) 10:00～13:00 楠ふれあいセンターゆめの木(大人)

- 参加費／一般3000円、会員2500円 託児(一人)1000円

●内容／東京から手塚先生をお迎えしてのトレーニングも5年目を迎えました。あなたは自分のことが好きですか? 「いのちの大切さ」を子どもたちにどう教えたらよいか悩んでおられる先生方にも受けていただきたいと日程を増やしました。ぜひ、体験してみてください。

### 第10回森であそぼ!

- とき／10月20日(月) 9:15～15:00ごろ  
●ところ／集合JR富田駅(1号線側)～菟野の奥の朝明茶屋(キャンプ場)の森  
●参加費／一般2500円、会員2000円  
●内容／親子でバスに乗って朝明茶屋のキャンプ場にある秘密の森に出かけます。川遊びもできます。雨天でも親子で自然を満喫します。ボランティアさん手作りのスープもあります。

### おしゃべりサロン

- とき／10月14日(火) 10:00～12:00  
●ところ／子育て広場：ドロッピン 事務所  
●参加費／一般300円、会員100円(コーヒー・ケーキ

付)、ランチ400円 ●募集人数／先着10組

●内容／親子で楽しい取り組み!それからお母さんだけ2階でおしゃべり。子ども達はボランティアの託児スタッフが預かります。

### かるがもくらぶ

●とき／10月10日(金)・17日(金)・24日(金)・31日(金) 10:30～12:00

●ところ／子育て広場：ドロッピン 事務所

●参加費／一般300円、会員無料

●内容／先輩ママと交流し、子どもと一緒に遊びます。

●問い合わせ先／四日市市富田1丁目8-11 子育て広場：ドロッピン Tel.&Fax.059-363-3728

E-mail smile\_dropin@yahoo.co.jp ホームページ

http://www.geocities.jp/smile\_dropin

### 第④回関宿スケッチコンクール

- とき／10月5日(日) 9:00～16:30雨天決行  
●ところ／本部受付：「いっぷく亭」

(亀山市関町新所)

●参加費／一般の部(高校生以上)200円、子どもの部(5歳～中学生)無料

●内容／往事のおもかげを色濃く残し重要伝統的建造物群保存地区(国文化財)に選定され、今も大切に守られている東海道五十三次の宿場地の一つ、関宿の町並みのスケッチコンクール。対象は10月5日に書かれた作品です。作品はスケッチ(素描)とし、彩色は水彩、パステル、コンテ、色鉛筆など。版画は可、油彩は不可。

●持ち物／描画材(紙はハガキサイズ～F10号・四つ切)

●申込方法／当日本部にて受付。

●問い合わせ先／関宿スケッチコンクール実行委員会事務局 Tel.0595-82-4125(森)、0595-84-5078(亀山市まちなみ・文化財室)

ホームページ http://sekijyuku-sketch.com

### 景観シンポジウム

- とき／10月11日(土) 受付12:30～13:00～16:30

●ところ／松阪市産業振興センター(近鉄松阪駅から徒歩15分) ●参加費／無料

●内容／東京大学大学院教授、西村幸夫さんの基調講演のあと、「次世代につなぐ歴史・文化を活かした景観まちづくり」をテーマにしたパネルディスカッションを行います。

●募集人数／150人(応募多数の場合、抽選)

●応募締切／10月1日(水)

●申込方法／参加申込書(チラシ裏またはホームページからダウンロード)を郵送、Fax、E-mailにて。

●問い合わせ先／三重県県土整備部景観まちづくり室

514-8570 津市広明町13番地  
 Tel.059-224-2748 Fax.059-224-3270  
 E-mail keimachi@pref.mie.jp ホームページ  
 http://www.pref.mie.jp/KEIMACHI/HP/  
 松阪市建設部都市計画課  
 515-8515 松阪市殿町1340番地1  
 Tel.0598-53-4166 Fax.0598-26-8184  
 E-mail tos.div@city.matsusaka.mie.jp  
 ホームページ http://www.city.matsusaka.mie.jp

しを木の舟で再現しました。伊勢から熊野へと歩き続けた巡礼の旅人の心情に近づけたらと思います。地域の案内は民話の主人公「種まき権兵衛」。川原で食べる昼食(おにぎり)と川の幸一品付き)も楽しみです。  
 ●募集人数/15人(最少催行10人)  
 ●申込・問い合わせ先/NPO法人ふるさと企画舎  
 Tel.0597-33-0077 Fax.0597-32-3800 ホームページ http://www.furusatokikakusha.com/

第九合唱のドイツ語発音指導

- とき/10月13日(月) 13:30~15:30
- ところ/四日市文化会館第2練習室(Tel.059-354-4501 近鉄四日市駅から徒歩10分・駐車場有)
- 内容/東京二期会の寛聰子さんを講師に迎えて、第九合唱のドイツ語発音指導を行います。基本的なドイツ語発音とメロディにのせたドイツ語発音を学びます。初心者歓迎。
- 問い合わせ先/大河内朋子 Tel.059-227-0687
- 主催/三重日独協会

人材育成研修シリーズ

メディアを読み解く力  
 ~メディア・リテラシーを学ぶ

- とき/10月19日(日) 13:00~16:00
- ところ/三重県生涯学習センター大研修室
- 参加費/無料 ●募集人数/30人
- 内容/毎日テレビや新聞を通して流される情報。ちょっと見方を変えると、様々なことが見えてきます。メディア・リテラシーは、メディアが何を伝えたいのか読み解き、物事の真意を見抜き、活用する能力です。サークル、PTA活動などでチラシやホームページなどを制作する機会が多い今、ぜひ身につけておきたい知識です。講義とワークショップを通して学びませんか?講師はフェリス女学院大学教授の諸橋泰樹さんです。
- 申込方法/電話、Fax、ホームページ、E-mail、窓口等。
- 問い合わせ先/三重県生涯学習センター Tel.059-

【四日市まなか子ども劇場】  
**親子・子どものためのワークショップ**  
 ●とき/10月13日(月・祝) 10:00~12:00  
 ●ところ/中部西小学校体育館  
 ●参加費/ペア2000円、1人1300円  
 ●内容/劇団うりんこの役者による表現のワークショップ。対象は幼児・小学生の親子。小学生は子どものみの参加も可能です。

**食欲の秋、やきいもを食べよう!**  
 ●とき/10月21日(火) 10:30~  
 ●ところ/海山道神社(現地集合解散)  
 ●参加費/300円  
 ●内容/落ち葉やどんぐりを拾って遊びましょう。  
 ●持ち物/お弁当  
 ●申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

**2008 いっしょに遊ぼう 子育てフェスタin松阪**  
 ●とき/10月18日(土) 10:00~15:00  
 雨天決行 ●ところ/三重中京大学キャンパス  
 ●参加費/入場無料(一部コーナー有料)  
 ●内容/子育て支援をする各種団体が集い、ネットワーク作りと交流を深めるためのイベント。出展ゾーンを「交流する」「遊ぶ」「表現する」「学ぶ・知る」の4つにわけ、ペダントやおりがみ凧などの工作教室や三輪バギー乗車体験、子どもフリーマーケットなど様々な企画が開催されます。  
 ●問い合わせ先/松阪子どもNPOセンター Tel.&Fax.0598-20-1511 E-mail info@mknpo.jp  
 ●主催/「いっしょに遊ぼう子育てフェスタin松阪」実行委員会、キッズカルチャーデザインセンター

**銚子の渡しから鳥越越え ~江戸時代の旅人に想いを馳せる一日~**  
 ●とき/10月19日、11月16・30日、12月7日(すべて日曜) 10:00~15:30 小雨決行  
 ●ところ/集合・種まき権兵衛の里(紀北町海山区便ノ山)  
 ●参加費/大人3000円、小人2500円  
 ●内容/江戸時代から途絶えたと考えられる銚子川の舟渡

**with student** 三重県内で活動している、学生など若者たちのボランティア・市民活動団体をご紹介します。

**ボーイスカウト・ガールスカウト 三重連盟 津第7団**  
 発団以来40年間にわたって、「健全なる青少年の育成」を目的として、地域の清掃活動や緑化活動、募金、キャンプ・ハイキングなどの野外活動を行っています。

地域の清掃活動では、市街地の缶拾いや老人ホームの窓拭きなどを、緑化活動では安濃川河川敷にて花・野菜の栽培、ごみ処理場にて植樹祭参加などを行っています。募金活動は、ユニセフ、盲導犬協会、みどりの日、被災地支援などです。

ボーイスカウト・ガールスカウトは、野外活動・奉仕活動の実践を通して、「生きる力」「チームワーク」「奉仕の精神」を身につけることができる活動です。「便利」に慣れてしまった昨今、あえて「不便」な体験をすることで多くのことを学べる場だと思えます。

連絡先	三重県護国神社 Tel.059-226-2559 柴田尚子 Tel.059-227-9254 谷口芳子 Tel.059-234-7688
メンバー数	ボーイ31名・ガール23名・計 54名
活動地域	おもに津市内

## 津市NPOサポートセンターのNPO基礎講座

- とき/11月2日(日)
- ところ/津市市民活動センター2階(津センターパレス)
- 参加費/500円(好きな講座に参加できます。いくつ受講しても受講費は変わりません)
- 内容/【1・ワタシ流おしゃべりと自分発見ワークショップ 10:30~12:00】ありのままの自分を受け入れられるようにしましょう。  
【2・目にとまるイベントチラシのポイント講座 13:00~14:30】ワードの基本操作がわかる方対象。  
【3・NPOゲームで学ぶNPOの基礎 14:45~16:15】NPOに興味がある、ゲームでNPOを学びたい方対象。  
【4・組織が大切!組織で社会をかえよう! 16:30~18:00】NPOに所属している方、市民活動初心者対象。
- 応募締切/10月31日(金) 申込みは先着順。
- 申込方法/電話、E-mail、Fax
- 申込・問い合わせ先/(特)津市NPOサポートセンター(担当:多喜・三好) Tel.059-213-7200 Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp  
ホームページ http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/

## ネットワークのよびかけ

### 中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～  
中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

- 【協働勉強会】●とき/10月8日(水) 13:30~16:30
- 【交流会】●とき/11月13日(木) 13:30~16:30
- 問い合わせ先/W.T.Aまちづくりセンター  
Tel.0595-24-7612

### ひろがれ友情、ひろがれ仲間

#### 第10回知的障がい者との交流会ボランティア募集

「津市知的障がい者との交流会」も10年目を迎えることができました。今年は更に多くの方々大きな輪を広げたいと思います。ゲームやバザーコーナーの担当、子どもたちと一緒に遊んでくれるなど、一緒にイベントを盛り上げ、楽しんでくれるボランティアを大募集します。

- 応募締切/11月5日(水) ●募集人数/約20人
- 【第10回知的障がい者の交流会】
- とき/11月16日(日) 9:45~14:30 小雨決行
- ところ/お城西公園(津市)
- 主催・申込・問い合わせ先/津市手をつなぐ親の会連合会 事務局 Tel.059-225-3930  
Fax.059-225-3935

### 【Mブリッジ】 カルチャースクール「ブンカの交流館」 秋期講座受講生募集

空き店舗を活用した「まちづくり」型カルチャースクール「ブンカの交流館」では、10月から始まる「秋期講座の受講生」を募集しています。アクセサリやダンス、語学など、全部で35講座!!講座内容や詳細はホームページで確認

- していただけます。電話での問い合わせも可能です。
- ところ/ベルタウン2階(松阪駅から徒歩1分半)
- 申込方法/ホームページか、事務局へチラシを請求。



人生の転機のをイキイキと過ごしていただけるよう、20以上の講座を用意します。まずは下記の3つの講座をご案内します。いずれかひとつの講座の受講も可能です。

- ところ/松阪駅前ベルタウン2階
- 募集人数/20名(先着順)
- 【ドア・1】～おもしろネタ発見のコツ～  
「新聞記者から学ぶ「情報の発見と発信」」
- とき/10月25日、11月1・29日(すべて土曜・全3回) 14:00～ ●参加費/1500円(全3回分)
- 内容/「ネタ」を見つけるコツと、文章にまとめるコツを新聞記者から学びます。受講後は「目の付けどころがいい」「解りやすい文章を書く」と言われること間違いなし!講師は(株)夕刊三重新聞社総務部次長の古屋武之さん。
- 【ドア・2】～子どもを危険から守るため、親にできること～  
「ケータイ安全教室」
- とき/11月7日(金) 14:00～
- 内容/【被害者になるな!】出会い系、架空請求、ワンクリック、詐欺の手口を知って備える。【加害者になるな!】プロフ、ブログ、掲示板、学校裏サイトなどのルール、マナー。【安心安全な利用を】家庭でのルールづくり、使い過ぎ防止、安心機能の活用 など。
- 【ドア・3】～50歳以上限定～  
「はじめてのフリーマーケット講座」
- とき/11月6日(木) 15:30～ ●参加費/100円
- 内容/「出店のコツ」「売れるための展示方法」など。受講後、出店できる場も提供します。講師は「月刊フリーマーケット天国」の赤澤貴子さんです。
- 申込方法/件名を「〇〇講座受講希望」とし、郵便番号、住所、名前、電話、Fax、E-mailを事務局まで。

### メールマガジン『ネクストドア』のドア 受信希望者募集

「ネクストドア」は松阪市とNPO法人が連携して実施する「役立つ連続講座」です。人生の転機を迎えた方を対象に、自分や街の「好き!」がたくさん発見できるような講座が続々登場します。講座情報はメールマガジン「『ネクストドア』のドア」で配信します。新たな講座情報を受信ご希望の方は、ホームページからお申込みください。無料です。

- 申込方法/http://www.m-bridge.jp/nextdoor/のメールマガジン参加フォームより。

- 問い合わせ先/515-0084 松阪市日野町788カリ  
ヨンプラザ3階 特定非営利活動法人Mブリッジ  
Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803
- 【ブンカの交流館】(事務局担当:濱田)  
E-mail bunka@m-bridge.jp  
ホームページ http://www.m-bridge.jp/bunka/index.html
- 【ネクストドア】(担当:米山)  
E-mail info@m-bridge.jp

## フリーマーケット情報

### フリーマーケットin四日市ドームVOL.28

- とき/10月5日(日) 10:00~16:00
- ところ/四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)
- 入場料/前売315円、当日525円
- 内容/700ブースの大型フリーマーケット。インディー

ズバンド「レジオキング」によるアコースティックミニライブ、ウルトラビンゴゲームも開催。

●主催・問い合わせ先／特定非営利活動法人MFA

Tel.059-320-0133

Fax.059-320-0134

E-mail webmaster@mfa.gr.jp

ホームページ http://www.mfa.gr.jp

●共催／レディオキューブFM三重



E-mail info@pola-art-foundation.jp

ホームページ http://www.pola-art-foundation.jp/index.html

## 生命保険協会「子育て家庭支援団体に対する助成活動」

●受付締切／11月14日(金)消印有効

●助成の対象となる団体／就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動を行う民間非営利のボランティアグループ・団体、NPO法人等で、所定の要件を満たす団体。

●助成の対象となる活動／例)学習会活動(育児勉強会の開催等)、相談活動(子育て相談・カウンセリング等)、情報提供活動(子育て情報誌の発行等)、交流活動(親子の集い・情報交換の場の提供等)、支援者養成活動、託児(事業等を行う際の一時預かり等)など。

●対象事業の期間／平成21年4月～22年3月に実施する活動

●助成の額／総額1400万円以内(予定)。1団体当たり上限25万円。

●応募方法／書類はホームページからダウンロード可能。申請は郵便(簡易書留または配達記録郵便)で送付。

●申込先／社団法人 生命保険協会三重事務局 514-0009 津市羽所町375 百五・明治安田ビル8階 Tel.059-225-7439

Fax.059-225-0413

●問い合わせ先／社団法人 生命保険協会 広報部内「子育て家庭支援活動事務局」Tel.03-3286-2643 Fax.03-3286-2730

ホームページ http://www.seiho.or.jp

## 21年度分年賀寄附金配分による助成

●受付期間／10月1日(水)～11月30日(日)消印有効

●助成の対象となる団体／(1)社会福祉法人(2)更生保護法人(3)民法34条による社団法人・財団法人(4)特定非営利活動(NPO)法人。以上の法人による以下の事業に助成を行います。「活動・一般プログラム」「活動・チャレンジプログラム」「施設改修」「機器購入」「車両購入」。

●助成の対象となる活動／(1)社会福祉の増進を目的とする事業

(2)風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業

(3)がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業

(4)原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業

(5)交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業

(6)文化財の保護を行う事業

(7)青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業

(8)健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業

(9)開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業

(10)地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業

●助成の額／「活動・一般プログラム」は申請額50～500万円。「活動・チャレンジプログラム」は50万円まで。「施設改修」「機器購入」「車両購入」は500万円まで。

●その他／「活動・チャレンジプログラム」のみ4年までの連続配分受給が可能。その他は連続年配分受給はできません。

●問い合わせ先／郵便事業株式会社 年賀寄附金事務局

100-8798 東京都千代田区霞が関1丁目3番2号

Tel.03-3504-4401 Fax.03-3592-7620

ホームページ http://www.post.japanpost.jp/kifu/

(受付時間:土日祝日を除く、10:00～12:00および13:00～17:00)

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ http://www.jfc.or.jp/

# 助成金 ニュース

## みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金

●受付期間／10月1日(水)～31日(金)

●助成の対象となる団体／(1)創業者(2)新事業を行おうとするベンチャー企業、中小企業者(3)NPO、商工団体、大学、任意グループ等の中小企業以外で新事業を行おうとする者

●助成の対象となる活動／地域課題の解決や地域資源の活用など、地域特性を生じたビジネスに新たに取り組む内容とします。詳細はお問い合わせください。

●問い合わせ先／財団法人三重県産業支援センター 産業支援部 地域産業創造課(担当:中津・田中)

Tel.059-228-3585 Fax.059-228-3800

E-mail tisansou@miesc.or.jp

ホームページ http://www.miesc.or.jp/cb-fund/index.htm

## キリン福祉財団

●受付締切／11月10日(月)消印有効

●助成の対象となる団体／地域での子どもに関わる、福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動する団体・グループ。法人格の有無は問いません。

●助成の対象となる活動／地域における子育てに関わるボランティア活動

●助成の額／総額3500万円。1件あたり上限は30万円。

●助成の期間／平成21年4月～平成22年3月

●応募方法／申込用紙に記入し、添付書類と共に郵送。用紙は下記に請求するか、ホームページからダウンロード。

●申込・問い合わせ先／(財)キリン福祉財団事務局 104-8288 東京都中央区新川2-10-1 Tel.03-5540-3522 Fax.03-5540-3525

ホームページ http://www.kirin.co.jp/foundation

## (財)ポーラ美術振興財団各種助成

●受付期間／10月1日(水)～11月12日(水)消印有効。ただし、11月19日(b)までに必着のこと。

●助成の対象／1、若手芸術家の在外研修。2、美術館職員の調査研究。3、美術に関する国際交流…A、海外美術展、B、国内開催の国際会議・交流活動

●助成対象事業の期間／平成21年4月1日～平成22年3月31日

●助成の額／1、若手芸術家の在外研修…1名あたり12ヶ月で340万円以内、18名程度。2、美術館職員の調査研究…1件あたり200万円以内、12件程度。3、美術に関する国際交流…1件あたり200万円以内、12件程度。

●応募方法／A4サイズが入る返信用封筒(140円切手を添付)に返信先と希望する対象分野を明記し、下記まで申請書を申込み、ホームページからダウンロード。申請用紙は必ず郵送。

●問い合わせ先／(財)ポーラ美術振興財団 141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3 Tel.03-3494-8237(代)

## みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

「地域とともに みなさまとともに」

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで

URL: http://www.miebank.co.jp



三重銀行

〈広告〉5

## 株式会社から各種法人設立、許認可申請、契約書作成 NPO法人設立手順のサポート

事業報告書等提出書、各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務 よいよ

0120-406-414 (フリーダイヤル)

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC)

三重県津市本町14-18 第1奥山ビル202

〈広告〉

## 今月特集

市民と行政でつくる公共

### 亀山市・協働事業提案制度

#### 協働事業提案制度の概要

協働事業提案制度は、市民と行政の多様なアイデアを提案する窓口を設置し、事業化できるものは協働で事業化していくための仕組みです。この提案制度は、公共サービスの質の向上、市民団体の事業力強化、市民と行政の協働意識の構築、公共の利益を目的として平成20年度から導入されています。

#### 亀山市協働事業提案制度の特徴

協働事業提案の募集は、1年に1度、時期を決めて行われ、応募から選定までの間に、提案者と担当部署に加え、協働コーディネーター、市民相談・協働推進室も入り、事業内容や役割分担、実現の道筋について協議を行い、事業の目的と問題意識の共有化を図ります。

事業について互いに理解を深め、実施段階でのよりよい事業の実施に結び付けていくことと、提案の趣旨を酌み、少しでも事業化できる部分は事業化してい

るよう、話し合う機会を持ちます。

平成20年度は、市民活動団体から8件の事業が提案されました。

#### 協働事業提案の公開プレゼンテーション

この8提案について、事業決定に向けての公開プレゼンテーションが行われます。

日時：10月19日(日)

午前10時～午後5時20分

場所：亀山市市民協働センター「みらい」  
協働事業に関心をお持ちの方は、どのような提案事業があり、どのように協議が進められたか、聞きに来られてはいかがですか？

①説明会・公募

②相談・提案受付

③調整・協議

④事業の決定

⑤最終協議の場

⑥事業の実施

⑦評価と改善

協働事業提案制度のフロー

問い合わせ先：亀山市市民部市民相談・協働推進室 TEL 0595-84-5008 FAX 0595-82-1434  
E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp URL <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/shiminet/>

## 中間 NPO 活動推進自治体 支援 フォーラム 静岡大会

今年で5年目を迎える「NPO活動推進自治体フォーラム」が、静岡県で開催されます。三重県も実行委員会に加わり、準備を進めています。

1. 期 日 平成20年11月17日(月)・18日(火)
2. 場 所 静岡市(「グランシップ」及び「あざれあ」)
3. 内 容

#### ■全体会【一日目】

- ・基調講演「協働と新たな公共サービス」
- ・パネルディスカッション「NPOとともに創る新たな地域社会」

#### ■分科会【二日目】

- ①NPOと行政等、多様な主体の連携のしくみ
- ②協働の多面的評価のあり方
- ③より良い協働のための協働事業提案制度
- ④続・地縁組織と志縁組織と行政との連携・協働
- ⑤市民活動センターの成果とは何か

4. 主 催 NPO活動推進自治体フォーラム静岡大会実行委員会

パネリストやコーディネーターとして三重県から、NPO法人赤目の里山を育てる会やW.T.A まちづくりセンター、NPO法人コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」などが出演します。

自治体職員やNPO関係者だけでなく、どなたでも参加できます。参加募集期間は、10月17日(金)までとなっていますので、お早めにお申し込みください。

詳細は、下記ホームページにてご確認ください。  
<http://www.npo.pref.shizuoka.jp/>

## 地域情報 ~街と自分・再発見塾~ 学びの扉を開こう ネクストドア〔松阪〕

入学・就職・結婚・定年退職など、人生には様々な転機があります。その転機の数だけ、私たちは「新しい扉」を開き、「新しい自分」を発見します。ネクストドアでは、人生の転機の後をイキイキと過ごしていただくため、様々なドアを用意していきます。まずは「学びのドア」として、皆さんの「〇〇の力」をアップしていただくための講座をご用意しております。他にも、趣味の仲間や楽しいサークル作りのきっかけとなる「仲間づくりのドア」や、自分の知識や得意分野を活かし、講師として活躍する場を提供する「チャレンジのドア」なども準備していく予定です。ドアは皆さんの希望を聞きながら増えていきますよ。まずは気軽にドアをノックしてください。

「ネットワークのよびかけ」コーナー内に詳細な説明があります。



新たな情報は下記ホームページでもご覧いただけます。  
「メールマガジン」の受信ご希望も、こちらをご覧ください。  
<http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

お問合せ：NPO法人Mブリッジ(ネクストドア担当)  
メールの方… [info@m-bridge.jp](mailto:info@m-bridge.jp)  
電話の方… 0598-23-8400

# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。別山安全なまちづくり推進委員会の伊藤さんが紹介してくださったのはNPO法人生活バス四日市の西脇さん。NPO法人生活バス四日市は全国でも珍しい、地域のコミュニティバスを運行しているNPO法人です。

## NPO法人がバスを運行!

……NPO法人生活バス四日市の活動内容は?

コミュニティバスを運営しています。バスは39人乗りで、月曜から金曜の5日間、スーパーサンシと近鉄かすみがうら駅間を5.5往復しています。

……NPOがバスを運営するようになった経緯は?

私たちが住んでいる羽津いかるが地区では、昭和20年頃から近鉄四日市駅に到るバス路線が三重交通(以下、三交と略)によって運営されていましたが、市郊外に病院やショッピングセンターが出来たこと、自家用車の普及によってバスの利用が落ち込んでいました。そのため、平成14年5月末で廃線になることが決まりました。その通達が羽津地区連合自治会に来たのが同じ年の2月。羽津地区の多くの自治会は廃線になっても特に問題はなかったのですが、羽津いかるが自治会地区になると近鉄やほかのバス路線に行くまで2~3キロもかかるため、高齢者などから不満の声が挙がりました。4月にアンケートを取ったところ、152名の回答中、「病院や買い物の足が無くなって困る」という意見が大半を占めました。

……バスの必要があるのに、既存路線は赤字ですね。

路線は四日市駅まで続いているのですが、羽津地区には病院もたくさんありますし、スーパーもあります。それにバス停まで遠かったり、バス停の間隔が広すぎたりという感じで、ついつい家族に頼んで車を出してもらったり、タクシーを利用したりしていたようです。

……アンケート結果を三交や四日市市に伝えたのですか?

もちろん伝えましたが、廃線が決定してから声を挙げて、撤回は難しいですね。市も財政難だし。そんな時に市政課から、「鈴鹿市で車で買い物に來られない人向けにお買い物バスを運行しているスーパーサンシが、四日市でも同じ様な計画をしている」と、企画に協力している森川さんを紹介してもらいました。企業単独で動いてもスムーズにいかないの、地域と協力して進めたいと。それでバス運行を目指すグループを作り、事例調べや運営資金の調達方法、運営組織づくりなどを始めました。

……運営資金はスーパーが負担するのではないのですか?

利用目的が買い物だけでは面白くないでしょう? 私たちとすれば、やはり病院、銀行、郵便局などにも行きたいですか

特定非営利活動法人 生活バス四日市



理事長 **西脇良孝** さんに 聞く

ら。地域住民、特に高齢者や足の悪い方などに話を聞いて、路線を模索しました。それで路線沿線の事業者や商店にお願いして、月ぎめの協賛金を集め、足りない分は行政から補助金をもらえるように掛け合いました。この時に問題になったのが、私たちが任意団体であること。補助金をもらうには、目的を持って活動し、事務もきちんとできる、世間から認知された団体でなくてははいけません。会社設立という方法もありますが、我々は非営利ですから、NPO法人にすることにしました。

……どんなメンバーが集まったのですか?

地域の住民、森川さんのほか、三交、市政課の方も個人として参加してくれました。名古屋大学環境学研究科の加藤先生は「NPOで運営をするの?それは面白い」と言ってくれて、研究室の学生の卒論対象にもなりました。あと、バスや電車などの時刻表と路線図を紹介している伊藤さん。バスに思い入れがある方がサポーターとして集まってくれました。

……三交が話に加わっているのが面白いですね。

三交も赤字であれば路線は増やしていきたくはないはずですから。我々の試みがバス会社からみても、今後の方策の一つになると思ってくれたのでしょう。行政、企業、地域住民が集まって、一生懸命考えました。これぞ協働(コラボレーション)です。行政の方は平成15年4月から補助金を出せるように考えてくれ、我々はそのために前年の12月中にNPO法人申請を行いました。同時進行で協賛金を集め、そのお金で平成14年11月から三交到バス試験運行を頼みました。

……試験運行から、スムーズに運行開始へ?

運行開始となると、協賛金と補助金だけでは運行経費に足りないの、利用者から運賃をもらうよう考えたのですが、そうすると収益事業ということになりバス路線免許が必要になりました。「どうしたらいいんやろ?」という感じ(笑)

……一つ問題を解決すると、また問題ですね。

NPOがバスを運行するのは、全国でも初めてのことからね。それに我々はバスに関しては全くのシロウト。少し進むと障害が現れる障害レースです(笑)。通常なら大きな会社が申請するバス路線免許を小さなNPOがもらいにきた。国土交通省もびっくりです。「免許を貰うにはどんな条件を整えればいいですか?」、まずここから始まりです。いくら規制緩和したとはいえ、小さな団体に路線を与えるのは難しい。そこで「行政が委託している事業、行政が補助金を出すような団体」という条件ができました。NPO法人格を取れば会社と同じ扱いですし、行政の補助金ももらえる予定ですと申請し、平成15年に免許を取得しました。

……三交到運行を委託するのではなく、自分たちで運転する案は無かったのですか?

バスを購入し、運転手を雇うとか、レンタカーを借りるとか、経費を抑える方法はいろいろあります。でも、それではリスクが大きい。たくさんの人に乘ってもらうのですから安全第一。安全な運行を行うには、それができる事業者をお願いしなくてはダメ。三交さんをお願いすれば、万が一の状況

にも対応してくれます。それで我々は運行費を支払う、それ以外は運行事業者である三交で対応してもらうよう、運行協定を我々と三交の間で交わしました。

## いろいろな人が、それぞれの分野で、できることから始めれば、それがまちづくりだと思います。

……問題が起こった時、どうしましたか？

どうすればいいか、聞いて回ります。そのためには誰に聞けばいいのか考えるアンテナが必要ですし、日々学んでいくことも大切です。

……町の問題は議員に頼めばいいと考える人もいますが？問題が行った時、すぐに議員さんに頼っているようではダメ。住民が一生懸命、真摯につきあえば行政も動いてくれます。うちの場合も住民が協賛金を集め、試験運行も始めた。ここまで来たら、行政も放っておけないでしょう。

……試験運行の結果はどうでしたか？

以前あった三交バスの路線は一日に25～30人くらいの利用だったのですが、試験運転では60～70人が乗ってくれました。

……試験運行の期間は？

目標は3ヶ月でしたが、実際は5ヶ月行いました。11月から始めて、1月で試験運行を終えると、本格始動の4月まで2ヶ月も空白が生まれてしまいます。三交さんに無理をお願いして、1ヶ月80万円かかるのを50万円で5ヶ月走ってもらいました。

……試験運行の時の料金は？

無料でした。本運行は有料ですから、利用者が半分くらいに減るのではと加藤先生も心配されていました。ところがお陰様で、予想はいい方向に外れて(笑)。現状維持だけでなく、年を追うごとに利用者は増えて行きました。

## 利用者が守り、育てていくバス

……料金体系は？

1回100円で、11枚綴り1000円の回数券も発売しています。このほか、全区間フリーパスの応援券を発行しています。料金は1ヶ月1000円からで、ご家族で乗れるように2枚お渡ししています。これが月80枚くらい売れています。

……定期券ではなく、応援券という名前のわけは？

これは行政の方のアイデア。バスに乗らなくても、資金援助の気持ちで購入してくださる方もいますので、この名前になりました。応援券は毎月20日ぐらいに購入者に電話をして「次はどう？」と予約を取っています。直接会ってお話することで、相手の健康状態や様子がわかりますから、券は自宅までお届けしています。

……低額な運賃ですね。

もちろん、お金を貰う以上はきちんとしますよ。三交バスが運行していた時のように、意識して乗らなくてもバスは無くないというような感覚ではダメ。自分たちの輸送手段は自分たちで確保し、守り、育てていく。そんな思いを乗客にも持ってもらうないとイケませんから、低額でもきちんとお金はいただくことにしました。

……協賛金を出している地元企業も、利用者が少ないようでは困りますからね。



使用されているバスと応援券。

協賛金を出すことで、お客さんが増えて、売上げが伸びる。その利益をまた協賛金に出してもらうというのが一番いい形。そのためには利用してもらう工夫が必要です。

……工夫とは？

平成19年には路線を延長し、バス停を21から31カ所に増やしました。そういう物理的な工夫のほか、バスを利用すれば友だちができる、世界が広がるを感じてもらうために特別運行しています。市が運営する西老人福祉センターにはカラオケや温泉などの設備があるのですが、そこの月1回、第三土曜日にバスを三交さんのご厚意で運行しています。この他、年4回観光バスを借りて、日帰り旅行も計画。3000円程度の参加費ですから大人気で、キャンセル待ちがでるほどです。実際にバスに乗ってもらうとわかりますが、車内の雰囲気がとても和やかです。皆さん、顔なじみになって繋がりもできるし、友だちも増える。バスを利用することによって高齢者の方も、家族に気兼ねすることなく外出できますから、これは介護予防にも繋がります。

……経営状況はどうですか？

乗客数は伸びていますが、協賛金が減っていますので、最近はやっと赤字。でも、これまでの繰り越しがあるので、それで繋いでいます。

……最近の燃料費の高騰は頭が痛いですね。

早いうちに軽油を値下げしてもらわないと、そのうちにバス代値上げして欲しいと言われなかとヒヤヒヤしています。ただ我々は、行政、運行事業者、民間企業、住民。それぞれが協働を考えて運営していますから、今のところはぐっと我慢してもらっています。

……先進的な事例ですから、視察も多いのでは？

視察や取材はこれまでに226回受けました。講演にも行きましたし、NHKの全国番組に取り上げられたこともあります。ただ、いろいろ問い合わせはありますが、NPOを立ち上げて運行を始めたという話はまだ聞きません。

……この活動は、バスを通したまちづくりですね。

あちこちで困りごとはあると思います。それをみんなで解決していけばいい。いろいろな人が、それぞれの分野で、できることから始めれば、それがまちづくりだと思います。

NPO法人 生活バス四日市

Tel.&Fax.059-361-6686

E-mail sbus\_yokkaichi@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www.rosenzu.com/sbus>

西脇良孝さんはこの人を紹介します。

金 憲裕さん

NPO法人市民社会研究所の事務局長さんです。

お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ず男女共同参画・NPO室に連絡してください。



古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。

協  
賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行  
第三銀行



百五銀行  
FRONTIER BANKING



JAバンク  
三重県下JA/JA三重県連